

令和8年度
定期総会

塩釜地区統一防火標語

「守りたい みんなの町を 火災から」



塩・防・安・協

桜の花びらは二市三町をあらわし
消防のマークを囲んで団結
ひろがりをあらわしております

全国統一防火標語

「火の確認 いい日を支える いい習慣」

危険物安全週間推進標語

「つかみ取れ！めざす無事故の頂を」

期日 令和8年5月27日（水）

場所 ホテルグランドパレス塩釜

塩釜地区防災安全協会

次 第

- 1 開 会
- 2 表 彰 令和8年度優良事業所等
- 3 開会挨拶 塩釜地区防災安全協会
会 長 花 渕 豊
- 4 祝 辞 塩釜地区消防事務組合消防本部
消防長 引 地 由 夫
- 5 議長選出
- 6 議 題
 - (1) 議案第1号 令和7年度事業報告について
 - (2) 議案第2号 令和7年度収入支出決算について
 - (3) 議案第3号 設立30周年記念事業報告について
 - (4) 議案第4号 設立30周年記念事業収入支出決算について
会計監査報告
 - (5) 議案第5号 令和8年度事業計画(案)について
 - (6) 議案第6号 令和8年度収入支出予算(案)について
 - (7) 議案第7号 危険物取扱者(乙種第4類)試験準備講習会の
オンライン型への移行(案)について
 - (8) 議案第8号 役員(定期)改選(案)について
- 7 閉会挨拶 塩釜地区防災安全協会
副会長 米 澤 彰
- 8 閉 会

令和 8 年度優良事業所等推薦名簿

(敬称略)

- 1 事業所表彰 10 事業所
防火管理部会 6 事業所

NO.	市町別	事業所名	所在地
1	塩竈市	塩竈市清水沢保育所	塩竈市清水沢一丁目 3 番 1 4 号
2	塩竈市	塩竈市立第一中学校	塩竈市みのが丘 3 番 1 号
3	多賀城市	東北電機製造株式会社	多賀城市宮内二丁目 2 番 1 号
4	松島町	金松堂 本店	松島町松島字町内 1 0 0 番地
5	七ヶ浜町	七ヶ浜町立遠山保育所	七ヶ浜町遠山四丁目 3 番 1 5 号
6	利府町	介護老人福祉施設 十符・風の音	利府町葉山一丁目 5 3

- 危険物保安部会 4 事業所

NO.	市町別	事業所名	所在地
1	多賀城市	幸栄運輸株式会社	多賀城市宮内二丁目 3 番 2 号
2	多賀城市	ホテルキャスルプラザ多賀城	多賀城市桜木一丁目 1 番 6 0 号
3	松島町	花ごころの湯 新富亭	松島町松島字垣の内 3 8 番 1 号
4	利府町	スガヤ石油森郷給油所	利府町森郷字新太子堂 1 6 2 番 1 号

- 2 個人表彰 6 名
防火管理部会 3 名

NO.	市町別	事業所名・氏名	所在地
1	塩竈市	東北ドック鉄工株式会社 伊藤 幸夫	塩竈市北浜四丁目 1 4 番 1 号
2	多賀城市	ヨークベニマル多賀城店 佐藤 真次	多賀城市高橋 4 丁目 3 番 5 号
3	多賀城市	新富旅館 鹿野 守	多賀城市桜木一丁目 1 - 2 8

- 危険物保安部会 3 名

NO.	市町別	事業所名・氏名	所在地
1	塩竈市	株式会社 東海塗料産業商会 成瀬 正賢	塩竈市野田 1 8 番 7 号
2	塩竈市	株式会社 仙塩ホームサービス 大内 章	塩竈市花立町 2 3 番 1 9 号
3	七ヶ浜町	太宰商店 太宰 勉	七ヶ浜町松ヶ浜字笹山 8 6

議案第1号

令和7年度事業事業報告

項目	月 日	内 容	備 考
会 計 監 査	4月10日(木)	令和6年度収入支出決算について	ホテルグランドパレス塩釜 奥田、宮田各監事出席 志村監事は4月8日(火)に別途実施
役 員 会	4月10日(木)	第1回役員会 (1) 令和6年度事業報告について (2) 令和6年度収入支出決算について 会計監査報告 (3) 令和7年度事業計画(案)について (4) 令和7年度収入支出予算(案)について (5) 令和7年度優良事業所等の表彰(案)について (6) 設立30周年記念事業(素案)について (7) 役員(補欠)改選(案)について	ホテルグランドパレス塩釜 阿部会長以下役員25名出席
	7月7日(月)	第2回役員会 (1) 移動研修会(案)について (2) 防災講演会(案)について (3) 第42回消火技術コンクールへの参画(案)について (4) 宮城県石油コンビナート等防災訓練視察研修会(案)について (5) 塩釜地区消防事務組合消防訓練視察研修会(案)について	パレス松洲 花淵会長以下役員24名出席
	12月16日(火) 付け通知	第3回役員会 (1) 令和7年度事業中間報告について (2) 令和7年度予算執行中間報告について (3) 設立30周年記念式典・講演会・祝賀会(案)について (4) 防火防災教室(案)について	書面会議 花淵会長以下役員全32名から表決
総 会	5月28日(水)	(1) 令和6年度事業報告について (2) 令和6年度収入支出決算について 会計監査報告 (3) 令和7年度事業計画(案)について (4) 令和7年度収入支出予算(案)について (5) 設立30周年記念事業(案)について (6) 役員(補欠)改選(案)について	ホテルグランドパレス塩釜 阿部会長以下役員25名、会員47名出席 (意見交換会) 花淵会長以下役員14名、会員23名出席
表 彰	5月28日(水)	塩釜地区防災安全協会優良事業所等表彰 (1) 事業所表彰 ①防火管理部会 ・株式会社サンデー塩釜店 様ほか6事業所 ②危険物保安部会 ・株式会社ミヤコーバス塩釜営業所 様ほか4事業所 (2) 個人表彰 ①防火管理部会 ・社会福祉法人おひさまと月の里 あかね保育園 中鉢 義徳 様 ②危険物保安部会 ・有限会社 櫻井住設 櫻井 修平 様 ・株式会社YAMANAKA仙台工場 逸見 力 様	定期総会にて表彰 欠席事業所には事務局から伝達

項目	月 日	内 容	備 考
表 彰	6月23日(月)	宮城県知事褒状 優良危険物取扱事業所 ・株式会社 三陸物産フロンティア利府SS 様 (一社)宮城県危険物安全協会連合会会長表彰 優良危険物取扱事業所 ・三喜運輸 株式会社 様 ・株式会社 宮城陸送 様 ・株式会社 東日本宇佐美 利府バイパス給油所 様 特別表彰(長年、役員として連合会の発展に寄与) ・阿部 建夫 様(前会長)	ホテル白萩 危険物安全大会にて表彰 阿部前会長ほか受賞事業所2名出席
(一社)宮城県 危険物安全 協会連合会	5月13日(火)	第99回理事会	ホテル白萩 阿部会長出席
	6月23日(月)	第38回定期総会	ホテル白萩 阿部前会長、宮田副部長出席 宮田副部長が理事に就任
	6月23日(月)	第100回理事会	ホテル白萩 宮田副部長出席
	11月18日(火)	第101回理事会	ホテル白萩 宮田副部長出席
	3月17日(火)	第102回理事会	ホテル白萩 宮田副部長出席
危険物試験 準備講習会	8月4日(月)	第1回講習会 受講者26名(申し込み28名)	多賀城消防署
	10月15日(水)	第2回講習会 受講者34名(申し込み36名)	〃
甲種防火管理 再 講 習	8月1日(金)	受講者29名(申し込み29名)	多賀城消防署
研 修 会	6月23日(月)	危険物安全大会((一社)宮城県危険物安全協会連合会)	ホテル白萩 阿部前会長、宮田副部長ほか会員2名出席
	9月18日(木)	移動研修会 (3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu、NHK仙台放送局)	花淵会長以下役員・会員24名参加
	10月3日(金)	第42回消火技術コンクール	加瀬沼公園 会員事業所37チーム出場
	10月24日(金)	宮城県石油コンビナート等防災訓練視察研修会(塩釜地区)	宮田副部長以下役員・会員16名参加
	11月5日(水)	消防訓練視察研修会(石田沢防災センター)	花淵会長以下役員・会員21名が参加し、 各種訓練を実施
	2月27日(金)	防火防災教室 演題:「35℃で涼しいと感じる日が来る!? ～笑えない未来を笑顔で生き抜くために～」 講師:おてんきぼうさいラボ 代表 木立 芳行 様	ホテルキャッスルプラザ多賀城 会員38名参加
講 演 会	11月20日(木)	防災講演会 演題:「気候が狂えば、災害も暴れる ～今、私たちが知るべき地球温暖化と防災の話～」 講師:おてんきぼうさいラボ 代表 木立 芳行 様	七ヶ浜国際村ホール 花淵会長以下役員・会員33名聴講
	1月16日(金)	新年研修会(設立30周年記念講演として開催)	ホテルグランドパレス塩釜
危険物安全 週 間 及 び 火 災 予 防 運 動 参 画	6月8日(日) ～6月14日(土)	危険物保安部会事業所へ危険物安全週間推進ポスター 及び消防写真新聞等を配付したほか、各事業所において 看板等を掲示し事故防止の啓発を図った。	危険物保安部会
	11月9日(日) ～11月15日(土)	秋及び春の火災予防運動に伴い、各事業所において 防火啓発ポスター等を掲示し、火災予防思想の普及高揚 を図った。	防火管理部会 危険物保安部会
	3月1日(日) ～3月7日(土)		

項目	月日	内 容	備 考
防火標語 審査会	1月29日(木)	応募総数686作品 (小学生の部664作品、一般の部22作品)	消防本部 花渕会長出席
		特 選 「守りたい みんなの町を 火災から」 松島町立松島第一小学校 5年生 木村 一沙 さん 入 選 小学生の部2作品、一般の部3作品	
会 報	3月26日(木)	会報第31号の発行	会員4名寄稿
各種団体の 育成協力		(1) 民間防火団体の育成協力 (2) (一社)宮城県危険物安全協会連合会事業への協力 (3) (一財)消防試験研究センター宮城県支部の消防設備士、 危険物取扱者試験等願書配布事務協力 (4) 危険物取扱者保安講習及び受講案内協力	

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 渕 豊

議案第2号

令和7年度収入支出決算書

収入合計 5,599,688 円
 支出合計 4,332,449 円
 残高 1,267,239 円

収入

(単位:円 △:減)

科目	予算現額			収入済額 (B)	予算現額と収入 済額との比較 (B) - (A)	説明
	当初予算額	補正額 (流用額)	計 (A)			
1 会費	4,007,000		4,007,000	3,979,000	△ 28,000	防火管理部会 5,000 円 × 314 件 = 1,570,000 円 9,000 円 × 42 件 = 378,000 円 13,000 円 × 15 件 = 195,000 円 17,000 円 × 11 件 = 187,000 円 21,000 円 × 17 件 = 357,000 円 計 399 事業所 2,687,000 円 危険物保安部会 5,000 円 × 187 件 = 935,000 円 9,000 円 × 5 件 = 45,000 円 13,000 円 × 2 件 = 26,000 円 17,000 円 × 2 件 = 34,000 円 21,000 円 × 12 件 = 252,000 円 計 208 事業所 1,292,000 円
2 事業収入	259,000		259,000	311,100	52,100	
(1) 甲種防火管理 再講習	60,000		60,000	60,900	900	教材斡旋等 29 件
(2) 危険物取扱者 試験準備講習	125,000		125,000	147,200	22,200	教材斡旋等 合計 64 件 第1回 28 件 第2回 36 件
(3) 試験願書配布 手数料	39,000		39,000	39,000	0	(一財)消防試験研究センター
(4) 保安講習等 指導事務	35,000		35,000	64,000	29,000	(一社)宮城県危険物安全協会連合会
3 繰越金	1,299,101		1,299,101	1,299,101	0	前年度繰越
4 繰入金	0		0	0	0	運営調整基金繰入金
5 その他の収入	1,899		1,899	10,487	8,588	預金利息等
合計	5,567,000	0	5,567,000	5,599,688	32,688	

支 出

(単位:円 △:減)

科 目	予 算 現 額			支出済額 (B)	予算現額と支出 済額との比較 (A) - (B)	説 明
	当初予算額	補正額 (流用額)	計 (A)			
1 事業費	2,134,000	△ 114,000	2,020,000	1,864,057	155,943	
(1) 防火啓発費	138,000		138,000	134,170	3,830	消防写真新聞購入 秋の火災予防運動ポスター購入 春の火災予防運動ポスター購入
(2) 研修費	516,000		516,000	406,275	109,725	移動研修会 石油コンビナート訓練視察研修会 消防訓練視察研修会 防災講演会 防火防災教室
(3) 講習会費	184,000	6,000	190,000	189,410	590	甲種防火管理者再講習教材費 危険物取扱者試験準備講習教材費
(4) 表彰費	110,000		110,000	86,922	23,078	定例表彰
(5) 情報連絡費	236,000		236,000	218,280	17,720	会報第31号、寄稿者謝礼
(6) 負担金	250,000		250,000	249,000	1,000	県危険物連合会会費・塩釜商工会議所会費
(7) 助成金	700,000	△ 120,000	580,000	580,000	0	塩釜地区防火委員会助成金
2 会議費	675,000	0	675,000	529,740	145,260	
(1) 総会費	450,000		450,000	394,114	55,886	定期総会
(2) 役員会費	225,000		225,000	135,626	89,374	監査・役員会 (第1回～第3回) 第3回は書面会議
3 事務費	860,000	18,000	878,000	864,737	13,263	
(1) 通信費	675,000	12,000	687,000	684,015	2,985	各種事業案内・ポスター郵送費等
(2) 消耗品費	164,000		164,000	154,872	9,128	事務用品(封筒、PC周辺機器等)
(3) 備品購入費	20,000	6,000	26,000	25,850	150	ラミネーター更新、イヤホンマイク更新
(4) 旅費	1,000		1,000	0	1,000	
4 事業準備金	1,000,000		1,000,000	1,000,000	0	運営調整基金積立
5 諸費	100,000		100,000	73,915	26,085	会費納入カップ手数料、各種代金振込手数料等
6 予備費	798,000	△ 24,000	774,000		774,000	
合 計	5,567,000	△ 120,000	5,447,000	4,332,449	1,114,551	

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 淵 豊

議案第3号

設立30周年記念事業及び実行委員会実施報告

項目	月 日	内 容	備 考
実行委員会	令和6年 7月5日(金)	第1回実行委員会 (1) 設立30周年記念事業の概要(素案)について (2) 今後のスケジュール(案)について (3) その他	パレス松洲 委員長以下4名出席
	12月6日(金)	第2回実行委員会 (1) 設立30周年記念事業の概要(素案)について(継続審議) (2) 今後のスケジュール(案)について (3) その他	ホテル松島大観荘 委員長以下6名出席
	令和7年 4月10日(木)	第3回実行委員会 (1) 設立30周年記念事業(案)について (2) 記念事業運営(案)について (3) 今後のスケジュール(案)について (4) その他	ホテルグランドパレス塩釜 委員長以下4名出席
	令和7年 7月7日(月)	第4回実行委員会 (1) 設立30周年記念事業(案)について(継続審議) (2) 記念事業運営(案)について(継続審議) (3) 記念式典・記念講演・記念祝賀会の次第資料の構成(案)について (4) 協会ホームページの構成(案)等について (5) 今後のスケジュール(案)について (6) その他、災害義援金の贈呈について(報告)	パレス松洲 委員長以下7名出席
	令和8年 2月27日(金)	第5回実行委員会 (1) 設立30周年記念事業報告について (2) 設立30周年記念事業収入支出決算(見込み)について (3) その他	飛翔 顧問、委員長以下3名出席
設立30周年 記念事業	令和7年 7月8日(水) 7月17日(金) 令和8年 1月16日(金)	設立30周年記念事業 (1) 災害義援金の贈呈 令和6年能登半島地震 令和6年能登豪雨 令和7年大船渡市赤崎町林野火災 (2) 塩釜地区防災安全協会ホームページ開設 (3) 記念式典 記念表彰 個人表彰 9名、事業所表彰 31事業所 記念品贈呈 防災30点セット その他、来賓祝辞、祝電披露 (4) 記念講演会 演題「地域企業の価値を高め、想いを伝える広報PRのコツ」 講師 株式会社アタランイケンキ 代表取締役・PRプロデューサー 名久井 麻利 氏 (5) 記念祝賀会 鏡開き 祝宴アトラクション ゲット・ハイ・アーツ・ジャズ・オーケストラライブ、抽選会	ホテルグランドパレス塩釜 記念式典 116名出席 記念講演会 118名出席 記念祝賀会 77名出席

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花淵 豊

議案第4号

設立30周年記念事業収入・支出決算書

1 収入合計	6,005,572 円
2 支出合計	5,049,833 円
3 残高	955,739 円

(収入)

(単位:円 △:減)

科目	予算現額			収入済額 (B)	予算現額と収入 済額との比較 (B) - (A)	説明
	当初予算額	補正額 (流用額)	計 (A)			
1 事業準備金	6,000,000		6,000,000	6,000,000	0	運営調整基金繰入
2 その他の収入	0		0	5,572	5,572	預金利子
合計	6,000,000	0	6,000,000	6,005,572	5,572	

(支出)

(単位:円 △:減)

科目	予算現額			支出済額 (B)	不用額 (B) - (A)	説明
	当初予算額	補正額 (流用額)	計 (A)			
1 事業費	5,100,000	159,000	5,159,000	4,965,237	193,763	
(1) 祝賀会費	400,000		400,000	373,677	26,323	祝賀会経費、次第印刷等
(2) 表彰費	160,000	159,000	319,000	318,120	880	表彰楯等
(3) 記念品費	3,600,000		3,600,000	3,440,800	159,200	記念品購入
(4) 謝礼金	340,000		340,000	286,000	54,000	記念講演、ライブ、司会謝礼
(5) ホームページ開設費	100,000		100,000	46,640	53,360	初期費用、1年間分月々費用
(6) 災害義援金贈呈	500,000		500,000	500,000	0	能登地震20万円、能登豪雨20万円、 大船渡市林野火災10万円
2 会議費	100,000	0	100,000	37,800	62,200	
(1) 実行委員会費	100,000		100,000	37,800	62,200	実行委員会(第1回～第5回)
3 事務費	85,000	1,000	86,000	46,796	39,204	
(1) 通信費	80,000		80,000	41,106	38,894	式典等案内送料等
(2) 雑費	5,000	1,000	6,000	5,690	310	
4 予備費	715,000	△ 160,000	555,000		555,000	
合計	6,000,000	0	6,000,000	5,049,833	950,167	

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 洩 豊

運営調整基金積立状況

(単位：円)

年度別	前年度末残高	積立金	繰出金	年度末残高	備考
平成10年度	4,410,743	404,259	0	4,815,002	
平成11年度	4,815,002	406,508	0	5,221,510	
平成12年度	5,221,510	516,755	0	5,738,265	
平成13年度	5,738,265	516,067	0	6,254,332	
平成14年度	6,254,332	508,507	0	6,762,839	
平成15年度	6,762,839	502,721	0	7,265,560	
平成16年度	7,265,560	202,914	4,000,000	3,468,474	
平成17年度	3,468,474	200,832	0	3,669,306	
平成18年度	3,669,306	120,880	0	3,790,186	
平成19年度	3,790,186	127,614	0	3,917,800	
平成20年度	3,917,800	51,000	0	3,968,800	
平成21年度	3,968,800	50,000	0	4,018,800	
平成22年度	4,018,800	50,000	0	4,068,800	
平成23年度	4,068,800	500,000	0	4,568,800	
平成24年度	4,568,800	1,800,000	0	6,368,800	
平成25年度	6,368,800	500,000	0	6,868,800	
平成26年度	6,868,800	500,000	0	7,368,800	
平成27年度	7,368,800	700,000	5,000,000	3,068,800	
平成28年度	3,068,800	1,334,021	0	4,402,821	(積立金内訳) 設立20周年記念事業決算 剰余金 834,021円 事業準備金 500,000円
平成29年度	4,402,821	500,000	0	4,902,821	
平成30年度	4,902,821	500,000	0	5,402,821	
令和元年度	5,402,821	300,000	0	5,702,821	
令和2年度	5,702,821	0	2,700,000	3,002,821	
令和3年度	3,002,821	2,700,000	0	5,702,821	
令和4年度	5,702,821	500,000	0	6,202,821	
令和5年度	6,202,821	1,000,000	0	7,202,821	
令和6年度	7,202,821	1,000,000	0	8,202,821	
令和7年度	8,202,821	1,000,000	6,000,000	4,158,560	(積立金内訳) 設立30周年記念事業決算 剰余金 955,739円



令和8年4月8日

塩釜地区防災安全協会
会長 花 淵 豊 殿

監 事 奥田 洋



監 事 菅原 慶太



監 事 志村 保行



会 計 監 査 報 告

塩釜地区防災安全協会会則第8条第3号の規定に基づき、令和7年度
収入支出の決算及び設立30周年記念事業収入支出の決算について
監査を実施したところ、諸帳簿及び関係書類は計数的に正確であり、
この決算は正当であると認めます。

議案第5号

令和8年度事業計画(案)

項目	日時	内容	備考
会計監査	4月8日(水)	(1)令和7年度収入支出決算について (2)設立30周年記念事業収入支出決算について	ホテルグランドパレス塩釜
役員会	4月8日(水)	第1回 (1)令和7年度事業報告・収入支出決算について (2)設立30周年記念事業報告・収入支出決算について 会計監査報告 (3)令和8年度事業計画(案)・収入支出予算(案)について (4)危険物取扱者(乙種第4類)試験準備講習会の オンライン型への移行(案)について (5)令和8年度優良事業所等の表彰(案)について (6)役員(定期)改選(案)について	ホテルグランドパレス塩釜
	7月8日(水)	第2回、第3回	パレス松洲
	12月4日(金)	総会に付議する事項、その他事業の推進、協会運営管理について必要ある場合に随時開催審議する。	ホテル松島大観荘
総会	5月27日(水)	定期総会 (1)令和7年度事業報告・収入支出決算について (2)設立30周年記念事業報告・収入支出決算について 会計監査報告 (3)令和8年度事業計画(案)・収入支出予算(案)について (4)危険物取扱者(乙種第4類)試験準備講習会の オンライン型への移行(案)について (5)役員(定期)改選(案)について	ホテルグランドパレス塩釜
表彰	5月27日(水)	塩釜地区防災安全協会表彰	定期総会にて表彰
	6月22日(月)	(一社)宮城県危険物安全協会連合会会長表彰	ホテル白萩
県危連	5月12日(火)	理事会(第103回)	ホテル白萩
	6月22日(月)	定期総会(第39回)、宮城県危険物安全大会	
	11月 3月	理事会(第104回) 理事会(第105回)	
研修会	9月18日(金)	移動研修会	加瀬沼公園
	10月2日(金)	第43回消火技術コンクール参画	
	10月	宮城県石油コンビナート等防災訓練視察研修会	
	11月	消防訓練視察研修会	
	2月26日(金) 随時	防火防災教室 法令研修会	
講演会	11月27日(金)	防災講演会	七ヶ浜国際村ホール
	1月15日(金)	新年研修会	ホテルグランドパレス塩釜

項目	日時	内容	備考
危険物安全週間及び火災予防運動参画	6月	危険物安全週間に伴う各種行事への参画 (6月14日(日)～20日(土))	危険物保安部会
	11月	秋の火災予防運動に伴う各種行事への参画 (11月9日(月)～15日(日))	
	3月	春の火災予防運動に伴う各種行事への参画 (3月1日(月)～7日(日))	
	随時	関係団体と協力、防火ポスター等を掲示し、積極的に火災予防思想の普及高揚を図る。	
審査会	1月28日(木)	塩釜地区防火標語審査会	消防本部
会報	2月～3月	会報第32号の発行	
各種団体の育成協力	通年	民間防火団体の育成協力 (一社)宮城県危険物安全協会連合会事業への協力 (一財)消防試験研究センター宮城県支部の消防設備士、危険物取扱者試験等願書配布事務協力 危険物取扱者保安講習及び受講案内協力	
その他	随時	新規会員の加入促進	

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 渕 豊

議案第6号

令和8年度収入支出予算書（案）

収入合計 5,296,273 円

支出合計 5,296,273 円

収 入

(単位:円 △:減)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
1 会 費	3,949,000	4,007,000	△ 58,000	<p>防火管理部会</p> <p>5,000 円 × 314 件= 1,570,000 円</p> <p>9,000 円 × 41 件= 369,000 円</p> <p>13,000 円 × 15 件= 195,000 円</p> <p>17,000 円 × 11 件= 187,000 円</p> <p>21,000 円 × 17 件= 357,000 円</p> <p>計 398 事業所 2,678,000 円</p> <p>危険物保安部会</p> <p>5,000 円 × 187 件= 935,000 円</p> <p>9,000 円 × 5 件= 45,000 円</p> <p>13,000 円 × 2 件= 26,000 円</p> <p>17,000 円 × 2 件= 34,000 円</p> <p>21,000 円 × 11 件= 231,000 円</p> <p>計 207 事業所 1,271,000 円</p>
2 事業収入	74,000	259,000	△ 185,000	
(1)甲種防火管理 再 講 習	-	60,000	△ 60,000	(削除) 令和7年度をもって講習終了のため。
(2)危険物取扱者 試験準備講習	-	125,000	△ 125,000	(削除) 令和8年度から対面型講習を終了し、オンライン型講習に移行したため。
(3)試験願書配布	39,000	39,000	0	(一財)消防試験研究センター
(4)保安講習等指導事務	35,000	35,000	0	(一社)宮城県危険物安全協会連合会
3 繰 越 金	1,267,239	1,299,101	△ 31,862	前年度繰越金
4 その他の収入	6,034	1,899	4,135	預金利子等
合 計	5,296,273	5,567,000	△ 270,727	

支 出

(単位:円 △:減)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
1 事 業 費	2,288,000	2,134,000	154,000	
(1)防火啓発費	137,000	138,000	△ 1,000	消防写真新聞購入 春・秋季火災予防運動ポスター購入
(2)研 修 費	838,000	516,000	322,000	移動研修会 石油コンビナート訓練視察研修会 消防訓練視察研修会 防災講演会 新年研修会 防火防災教室 法令研修会
(3)講習会費	-	184,000	△ 184,000	甲種防火管理再講習終了のため。 危険物取扱者試験準備講習を終了し、 オンライン講習型講習に移行たいため。
(4)表 彰 費	126,000	110,000	16,000	定例表彰
(5)情報連絡費	238,000	236,000	2,000	会報第32号発行
(6)負 担 金	249,000	250,000	△ 1,000	県危険物連合会・塩釜商工会議所
(7)助 成 金	700,000	700,000	0	塩釜地区防火委員会助成金
2 会 議 費	767,000	675,000	92,000	
(1)総 会 費	532,000	450,000	82,000	定期総会
(2)役員会費	235,000	225,000	10,000	監査・役員会(第1回～第3回)
3 事 務 費	980,000	860,000	120,000	
(1)通 信 費	782,000	675,000	107,000	各種案内・ポスター送料、ホームページ運営費等
(2)消耗品費	177,000	164,000	13,000	事務用品(トナーインク、コピー用紙等)
(3)備品購入費	20,000	20,000	0	トランシーバー修理費等
(4)旅 費	1,000	1,000	0	各種連絡旅費
4 事 業 準 備 金	1,000,000	1,000,000	0	運営調整基金積立
5 諸 費	100,000	100,000	0	年会費カップ収納手数料、慶弔費等
6 予 備 費	161,273	798,000	△ 636,727	
合 計	5,296,273	5,567,000	△ 270,727	

※予算の補正及び流用については、会長(役員会)に一任するものとする。

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 浏 豊

運営調整基金積立状況(案)

(単位：円)

年度別	前年度末残高	積立金	繰出金	年度末残高	備考
平成10年度	4,410,743	404,259	0	4,815,002	
平成11年度	4,815,002	406,508	0	5,221,510	
平成12年度	5,221,510	516,755	0	5,738,265	
平成13年度	5,738,265	516,067	0	6,254,332	
平成14年度	6,254,332	508,507	0	6,762,839	
平成15年度	6,762,839	502,721	0	7,265,560	
平成16年度	7,265,560	202,914	4,000,000	3,468,474	
平成17年度	3,468,474	200,832	0	3,669,306	
平成18年度	3,669,306	120,880	0	3,790,186	
平成19年度	3,790,186	127,614	0	3,917,800	
平成20年度	3,917,800	51,000	0	3,968,800	
平成21年度	3,968,800	50,000	0	4,018,800	
平成22年度	4,018,800	50,000	0	4,068,800	
平成23年度	4,068,800	500,000	0	4,568,800	
平成24年度	4,568,800	1,800,000	0	6,368,800	
平成25年度	6,368,800	500,000	0	6,868,800	
平成26年度	6,868,800	500,000	0	7,368,800	
平成27年度	7,368,800	700,000	5,000,000	3,068,800	
平成28年度	3,068,800	1,334,021	0	4,402,821	(積立金内訳) 設立20周年記念事業決算 剰余金 834,021円
平成29年度	4,402,821	500,000	0	4,902,821	
平成30年度	4,902,821	500,000	0	5,402,821	
令和元年度	5,402,821	300,000	0	5,702,821	
令和2年度	5,702,821	0	2,700,000	3,002,821	
令和3年度	3,002,821	2,700,000	0	5,702,821	
令和4年度	5,702,821	500,000	0	6,202,821	
令和5年度	6,202,821	1,000,000	0	7,202,821	
令和6年度	7,202,821	1,000,000	0	8,202,821	
令和7年度	8,202,821	1,000,000	6,000,000	4,158,560	(積立金内訳) 設立30周年記念事業決算 剰余金 955,739円
令和8年度	4,158,560	1,000,000		5,158,560	年度末残高については、見込額

議案第7号

危険物取扱者（乙種第4類）試験準備講習会の オンライン型への移行（案）について

危険物取扱者（乙種第4類）試験準備講習会のオンライン型への移行について提案する。

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 渕 豊

1 提案内容

毎年、対面型で実施している試験準備講習会を、試験合格率向上等のため、（一財）全国危険物安全協会で開催しているオンライン型講習へ移行する。

【対面講習概要】

- (1) 回数等 例年2回8～10月に多賀城消防署で実施
- (2) 受講時間 1日講習（9時～17時）
- (3) 受講料 2,300円（テキスト代）
- (4) 受講人数 年2回合計50名程度
- ※ 県内合格率 30.71%（令和7年度） 事務局調べ

2 （一財）全国危険物安全協会オンライン型講習の概要

- (1) 受講期間 60日間（期間中は何度でも受講可能）
- (2) 受講時間 対面講習2日分の受講内容
- (3) 受講方法 パソコン、スマートフォン、タブレットいずれも可
- (4) 申込期間 年中
- (5) 受講料 16,500円（税込：テキスト3冊約5,000円分含む）
- (6) 試験合格率 約70% 対面型講習の2倍以上高い。

議案第8号

役員（定期）改選（案）について

塩釜地区防災安全協会会則第6条、第7条及び第9条に基づく役員
の改選について提案する。

令和8年5月27日 提出

塩釜地区防災安全協会
会長 花 渕 豊

※ 塩釜地区防災安全協会会則抜粋

（役員）

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理 事 30名以内（会計理事 1名含む）
- (4) 監 事 3名

（役員を選任）

第7条 理事は、総会において会員中より選出し、会長、副会長、監事は理事の中
から互選する。

（任期）

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

塩釜地区防災安全協会役員

(令和8年5月27日 敬称略)

役 職	氏 名	事 業 所 名
会 長	花 洸 豊	ポエム
副 会 長 防火管理部会長	米 澤 彰	(株)共和電業多賀城営業所
副 会 長 危険物保安部会長	高 橋 利 滋	大郷運輸(株)
副 部 会 長 防火管理部	磯 田 光 貴	松島国際観光(株) ホテル松島大観荘
副 部 会 長 危険物保安部	伊 藤 幸 夫	東北ドック鉄工(株)
副 部 会 長 防火管理部	菅 原 宏 和	(株)白寿殿
副 部 会 長 危険物保安部	大 泉 誠	東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所
会 計 理 事	藤 田 金 広	(医)社団赤石会 赤石病院
理 事	阿 部 勘 九 郎	東日本自動車学校
理 事	大 里 伸 洋	塩釜ガス(株)
理 事	亀 井 弘	(医)菅野愛生会 緑ヶ丘病院
理 事	小 川 宏 樹	日本農産工業(株)塩釜工場
理 事	大 久 信 広	塩釜商工会議所
理 事	庄 司 善 浩	(株)アイザワ
理 事	西 田 忠 仁	カメイ(株)宮城支店塩釜営業所
理 事	相 澤 道 徳	出光興産(株)塩釜油槽所
理 事	鈴 木 祐 一	東陽防災設備(株)
理 事	山 鹿 実	ソニーストレージメディア(株)
理 事	茂 木 明 浩	東北電機製造(株)
理 事	佐 藤 好 伸	東北緑化環境保全(株)環境分析センター
理 事	鷺 足 直 樹	カメイ物流サービス(株)
理 事	山 下 直 人	E N E O S (株)仙台製油所
理 事	秋 田 貢	(株)ニヤコホレーション東北支店多賀城事業所
理 事	田 辺 正 樹	結城運輸倉庫(株)仙台支店仙台営業所
理 事	稲 富 慶 雲	(宗)瑞巖寺
理 事	丸 山 泰 弘	宮城県市町村職員共済組合保養所パレス松洲
理 事	児 玉 昭 宏	東北電力(株)仙台火力発電所
理 事	伊 藤 隆 義	東北発電工業(株)利府製作工場
理 事	井 上 知 己	東日本旅客鉄道(株)新幹線総合車両センター
監 事	奥 田 洋	理研食品(株)仙台新港工場
監 事	菅 原 慶 太	志波彦神社・鹽竈神社
監 事	志 村 保 行	日本アルコール販売(株)仙台支店

計 3 2 名

塩釜地区防災安全協会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、塩釜地区防災安全協会と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所を塩釜地区消防事務組合消防本部内に置く。

(目 的)

第3条 本会は、会員相互の防火思想の普及高揚をはじめ、事業所の防災業務関係者に対する教育訓練指導等により、消防施設の充実並びに安全管理の徹底を期し、各事業所の発展と会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 防火知識及び危険物災害予防思想の普及に関する事項
- (2) 防火管理者及び危険物取扱者としての職務知識及び技術の研究に関する事項
- (3) 火災等の原因及び損害結果を基礎とした予防対策に関する事項
- (4) 講演会及び講習会等の開催に関する事項
- (5) 参考資料、ポスター等の発行及び消防情報に関する事項
- (6) 会員相互の連絡協調に関する事項
- (7) 表彰に関する事項
- (8) その他、本会目的を達成するために必要な事項

第2章 会 員

(会 員)

第5条 会員は次の二種とし、本会の目的に賛同する事業所及び個人をもって組織する。

- (1) 防火管理部会
 - (2) 危険物保安部会
- 2 入退会は、所定の手続きをもっておこなうものとする。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 30名以内（会計理事 1名含む）
- (4) 監事 3名

(役員を選任)

第7条 理事は、総会において会員中より選出し、会長、副会長、監事は理事の中から互選する。

(職務)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表して会務を総理し、総会及び役員会を招集する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 理事は会務を処理し、会計理事は経理事務を掌り、監事は会計監査をする。

(任期)

第9条 役員の仕事は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

(名誉会長)

第10条 本会に名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は役員会において推薦し、総会に諮りこれを推戴する。

(顧問および参与)

第11条 本会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、塩釜地区消防事務組合消防本部または本会に関係のある団体及び法人から、役員会からの議決を経て会長が委嘱する。

3 顧問および参与は、会長の諮問に応じ役員会に出席して、意見を述べるすることができる。

第3章 事務局

(事務局)

第12条 事務局の構成員は、次のとおりとする。

- (1) 事務局長 1名
- (2) 事務局員 若干名

第4章 会 議

(会 議)

第13条 本会の会議は、次のとおりとする。

- (1) 定期総会
- (2) 臨時総会
- (3) 役員会

(総 会)

第14条 定期総会は、年1回開会し、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 予算及び決算の承認に関する事項
- (2) 事業計画及び事業報告の承認に関する事項
- (3) 会則の改廃に関する事項
- (4) 理事及び監事の選出に関する事項
- (5) その他重要事項

2 臨時総会は、必要に応じて会長が招集する。

(役員会)

第15条 役員会は必要に応じて会長が招集する。

2 役員会は、次の事項を審議し決定する。

- (1) 総会に提出すべき議案に関する事項
- (2) 事業の運営に関する事項
- (3) その他会長が必要と認めた事項

(議 会)

第16条 会議の議決は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 総会の議長は出席会員の中より選出する。

第5章 会 費

(会 費)

第17条 会員は、別に定める会費を5月末までに納入するものとする。

第6章 会計及び帳簿

(運営費)

第18条 本会の運営費は、会費及び寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第19条 本会の会計は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(帳簿)

第20条 本会に帳簿を備える。

- (1) 会員名簿
- (2) 役員名簿
- (3) 現金出納簿
- (4) 備品台帳
- (5) 関係書類綴

第7章 補 則

(補 則)

第21条 この会則の実施に関し必要な事項は、役員会の承認を経て会長がこれを定める。

附 則

- 1 この会則は、平成7年4月1日より適用し、会計年度も平成7年4月1日より適用する。
- 2 合併以前の塩釜地区防火管理者協議会及び塩釜地区危険物安全協会の財産及び権利義務は、塩釜地区防災安全協会が一切を承継する。
- 3 合併以前の塩釜地区防火管理者協議会及び塩釜地区危険物安全協会の会員は、塩釜地区防災安全協会の成立とともにその会員となる。
- 4 現役員は、平成7年度まで引き継ぐ。ただし、同年度まで会長代行をおくことができる。

会 費

○防火管理部会会員

防 火 管 理 部 会			
区 分	収容人員・従業員	対象物合計延面積	金 額
1-防A	150人未満	1,000㎡未満	5,000円
1-防B	150人以上 350人未満	1,000㎡以上 2,000㎡未満	9,000円
1-防C	350人以上 500人未満	2,000㎡以上 3,000㎡未満	13,000円
1-防D	500人以上 1,000人未満	3,000㎡以上 5,000㎡未満	17,000円
1-防E	1,000人以上	5,000㎡以上	21,000円

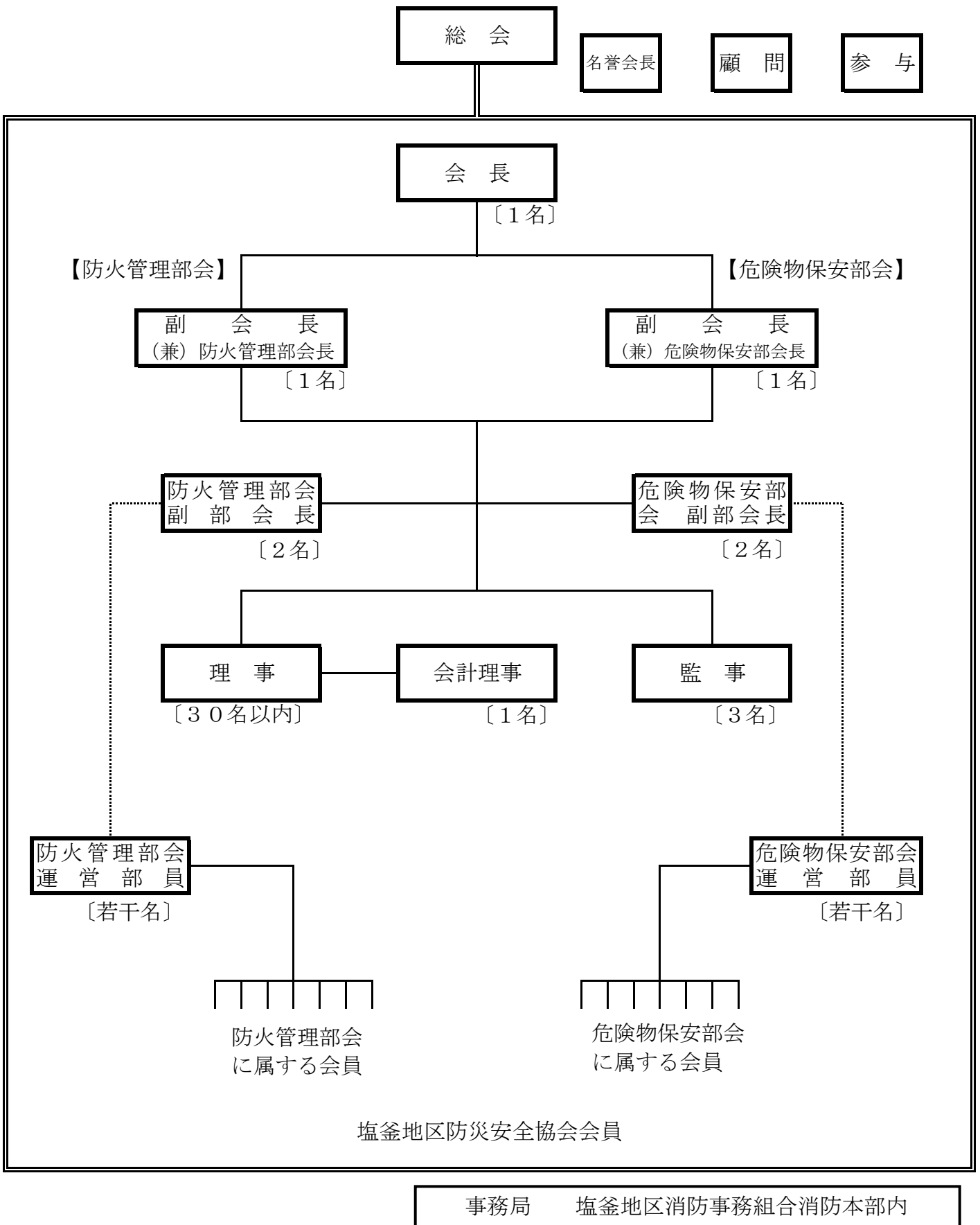
○危険物保安部会会員

危 険 物 保 安 部 会		
区 分	危険物施設許可施設数	金 額
1-危A	5施設未満	5,000円
1-危B	5施設以上 10施設未満	9,000円
1-危C	10施設以上 15施設未満	13,000円
1-危D	15施設以上 25施設未満	17,000円
1-危E	25施設以上(コンビナート地区内含む)	21,000円

備 考

1. 防火対象物は消防法第8条に定める対象物をいう。
2. 危険物施設は消防法第11条に定める製造所等をいう。
3. 本会費の適用は、平成17年4月1日現在で既加入事業所とし、新規に加入する事業所も同様とする。
4. 防火管理部会、危険物保安部会の両方に加入する場合は、主事業を上記表の基準の会費とし、副事業については、一律5,000円とする。
5. 公共施設については、上記表にかかわらず5,000円とし、防火管理部会、危険物保安部会の両方に加入する場合は10,000円とする。

塩釜地区防災安全協会組織図



塩釜地区防災安全協会表彰規約

(趣 旨)

第 1 条 塩釜地区防災安全協会会則第 4 条第 7 号の表彰については、この規約の定めるところによる。

(表彰の対象事績)

第 2 条 表彰を受けるものの範囲は、次に掲げる事項について功労があると認められる個人または団体とする。

- (1) 防火管理者又は危険物取扱者として他の会員の模範と認められるもの。
- (2) 本会の運営、事業推進に寄与したもの。
- (3) 水火災に対し、特に功労があると認められるもの。
- (4) 創意工夫により防災上、有益な改良考案をしたもの。
- (5) その他特に表彰に値すると認められるもの。

(被表彰者の推薦)

第 3 条 被表彰者は、会員から推薦されたものの中から、役員会において選考し、決定する。

2 被表彰者を推薦する場合は、別記様式による表彰推薦書を提出しなければならない。

(表彰日)

第 4 条 表彰は定例総会において、表彰状並びに記念品を授与して行う。ただし、臨時に表彰することができる。

(追 彰)

第 5 条 表彰を受ける者が、表彰前に死亡し、または退職したときは、死亡または退職の日にさかのぼって表彰する。

令和7年火災・救急統計

1 火災件数

(△:減・単位:件)

市町別	令和7年	令和6年	比較
塩竈市	15	17	△ 2
多賀城市	10	15	△ 5
松島町	6	7	△ 1
七ヶ浜町	3	2	1
利府町	7	12	△ 5
合計	41	53	△ 12

2 救急出場件数

(△:減・単位:件)

市町別	令和7年	令和6年	比較
塩竈市	3,574	3,533	41
多賀城市	3,126	3,142	△ 16
松島町	1,113	1,077	36
七ヶ浜町	927	902	25
利府町	1,931	1,845	86
その他	6	6	0
合計	10,677	10,505	172

(△:減・単位:件)

火災種別ワースト	令和7年	前年比
第1位 建物	28	1
第2位 その他	9	△ 12
第3位 車両	3	△ 2

(△:減・単位:件)

救急事故種別順位	令和7年	前年比
第1位 急病	7,439	2
第2位 一般負傷	1,697	219
第3位 転院搬送	935	37
第4位 交通事故	347	△ 43

(△:減・単位:件)

火災原因ワースト	令和7年	前年比
第1位 電気関係	9	0
第2位 こんろ (天ぷら鍋 放置含む)	4	0
第3位 たばこ	3	△ 5
第4位 放火・放 火疑い	3	△ 7

【火災】

前年と比較すると12件の減少で、これはおおよそ9日に1件の割合で火災が発生していることになる。初期消火は41件中25件（61.0%）で実施され、うち17件（64.3%）が消火に成功している。

【救急】

前年と比較すると、出場件数で172件増加している。これは1日平均約29.2回救急車が出動し、住民の約17.7人に1人の割合で救急搬送されたことになる。